

ウクライナ大統領がバイデンのアメリカを嘲笑：

キエフの米人は、ロスや、他のどこの米犯罪都市より安全だ

Infowars.com

January 24, 2022

<https://www.infowars.com/posts/ukrainian-president-mocks-bidens-usa-americans-safer-in-kyiv-than-in-los-angeles-or-any-other-crime-ridden-city-in-us/>

⇒ゼレンスキー大統領の言葉は、この東欧国家が、バイデン政権下でのアメリカに対して抱いている尊敬の欠如を反映している。

⇒このウクライナ側のコメントは、米務省が、ロシア軍の集結に対処して、ウクライナ大使館からの米市民退去を通告したときの反応である。

ウクライナ大統領ボロジミール・ゼレンスキーは、この国をめぐるロシアと EU の論争が続くなかで、ジョー・バイデン政権と、この地域での NATO の軍事増強に対し、批判し嘲笑した。

ウクライナの政府高官たちは、米務省が「ロシアが軍事行動を狙っている」として、ウクライナ大使館からの米市民撤退を通告したとき、怒りの反応を示した。

「アメリカがこれを真っ先に通告したということは、極めて残念なことだ。全く正直に言って、わが国のアメリカ人たちは、キエフに在住していて、ロサンゼルスや他のどこの犯罪に巻き込まれた米都市よりも、はるかに安全なのだ」と、ゼレンスキーに近い筋は、月曜日、BuzzFeed ニュースに語ったと言われる。

<https://www.buzzfeednews.com/article/christopherm51/russia-ukraine-angry-american-departures>

ゼレンスキーは次いで、この動きは、「アメリカの矛盾した行動」を示すものだと言い、最初に保護を約束するが、しかし、ロシアからの軍事行動の様子が見えた途端に、それを取り消すのだ、と言ったという。ロシアは、ウクライナ国境の近くで巨大な兵力を蓄えつつあるが、それはこの地域の NATO が、軍事演習を行っていることに、対処するものだ。

https://www.nato.int/cps/en/natohq/news_181914.htm#:~:text=Ukrainian%20NATO%20conducted%20military%20exercises%20simultaneously%20over%20the,to%20operate%20together%20and%20respond%20to%20any%20threat.

一方において、ワシントンはウクライナにこう言う：——「どうやって民主化するかの問題だ。我々はあなた方の味方だよ。西洋に加入するかどうかはあなた方の権利だ。我々はロシアの侵略に対して、あなた方の利益を守っているのだ」と、このソースは、ウクライナに対するアメリカの、これまでの保護支援のやり方を、口真似して言った。「そこでロシアが現れると、温度が変わるのだ。そして彼らはさっさと離れていく。」

ウクライナの外務省は、ゼレンスキーの感情をエコーして、月曜日、米務省の行動を「極端な用心深さ」だとツイートした。

Oleg Nikolenko:「我々は、米務省スタッフの家族の、出発の慌ただしさに驚いている。我々は諸外国が、彼らの外交的ミッションの安全と保障を、守る権利は尊重するが、このような行動は時期尚早で、過剰な用心の例ではなかろうか？」

ゼレンスキー大統領の言葉は、この東欧国家が、バイデン政権下のアメリカに対し、尊敬の気持ちを持たないことを反映している。この政権は、昨年一年を通して、左派の役人たちが、主要都市で、犯罪者を取り締まることを拒否したために、暴力的犯罪の急上昇が起きている。<https://neonnettle.com/news/18109-carjackings-skyrocket-by-510-in-democrat-run-cities-amid-soft-on-crime-policies>
<https://www.msn.com/en-us/news/politics/two-years-of-violent-crime-are-leading-us-to-the-point-of-no-return/ar-AAT0VPL?ocid=uxbndlbing>

ウクライナは、今までずっと、NATO に加盟するように西側から圧力を受けてきた。ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、これを、この2国の共有する歴史と地政学的重要性を考えれば、完全に受け入れ難い提案だと言っている。

「もし我々が、我々のミサイルを、カナダやメキシコとのアメリカの境界に据え付けたとしたら、アメリカ人たちはどう反応するだろうか？」と、プーチンは12月に訊ねた。
<https://nypost.com/2021/12/23/putin-demands-nato-not-expand-into-ukraine-blames-us/>

「はっきりしないことは何か？ 我々はアメリカの国境の近くにミサイルを据え付けているのか？ そうではない。彼らのミサイルをもって我々のところへやってきたのは、アメリカだ。彼らはすでに我々の玄関先にいる。」

「〈東側へは一インチも近づかない〉と、彼らは90年代に、我々に約束した。そこでどうなった？ 彼らは我々を騙した、全く鉄面皮に我々を欺いたのだ！ NATO 拡大の5回の波がきて、見なさい、今すでにこの仕掛けが、ルーマニアにも、ポーランドにも現われている」と、プーチンはつけ加えた。

参考資料：「露がバイデンの差し迫る攻撃に先手を打って、ウクライナを押さえようとしていることを知れ」

<https://freeworldnews.tv/watch?id=61e9f9e52b3a1309efcb0974>

[訳者 Greatchain 注]

米露のこの緊張を扱った記事は、いくつもあるが(例：「ロシアにウクライナ侵略の意思はないかもしれない——ペンタゴン」)<https://www.infowars.com/posts/russia-may-not-be-poised-to-invade-ukraine-pentagon/> 特にこれを選んだのは理由がある。

まず、この世界的な大衝突は、最終的にウクライナを舞台として起こるだろうと、かなり前から予言されてきた。それが今、起ころうとしていると考えるべきだろう。しかし、この運命の激突は、全く両極端の形をとって現れる可能性があるように思われる。1つは第3次大戦としての大量破壊。もう1つは思ったほどの事にならなくて済む可能性。

後者の場合、ここに言われている、現ウクライナ大統領の現実認識に現れているように、世界の人々は今、かなり敵の手の内を知っており、目覚めているから、昔どおりのグローバリストの筋書きは、起こりにくいだろうということがある。逆に、グローバリスト陰謀団は、ほとんど信仰のように、我々が馬鹿であるかのように、全く同じ騙しの手口を使う可能性がある。これは強調した部分によく現れている。彼らはあたかも、イラクやリビアやシリアのやり方通りに、「民主化」や「保護」を使えば、現在のウクライナも動かせると考えているようなふしがある。しかし、彼らの自暴自棄というべきか、最後の手段というべきものが、どのようなものでありうるか、どのように起こるか、これは全く未知の領域である。困ったことに、彼らの「科学的手段」に加えて、彼らの傲慢とサイコパスの病理学を我々はよく知らない。

もう一つ重要なことは、このウクライナ作戦は、ワクチン作戦とよく似ており、ひと繋がりのものであるということである。ワクチン作戦も最初は、我々を「保護」するもので、プラセボをうまく使うことによって、害も少なく、我々を安心させて「騙す」もので、

究極的には、うまく病気に罹らせ、人口削減へと導いていく。そのことが、つい最近わかってきた。一方で、彼らエリート陰謀団が、傲慢で自分を過信し、一般大衆を小馬鹿にする習性をもつこともわかっている。これはあの「キーウィ発言」からもよくわかる。「ワクチンが毒であることはキーウィでも知っている」などと、尊大な、人を食ったことを言い、あまり気にしないのは彼らの特徴である。これはキーウィをよく目にする環境、つまりニュージーランド（という最も横暴な政府をもつ国）に住む、R字をもつどちらかの人物であると想像できる。

もう一つ、この記事が目立つことは、プーチン大統領の述べる正論とともに、彼がウクライナを、ほとんど自国のように思いやっていることである。一つ考えてみてほしい。もし、（おそらくわが国の政府関係者の多くが信ずるように）、プーチンが暴力で強引にクリミア半島を併合したのなら、彼に対する反感が大きく、そんな発言が出てくるはずがない。ウクライナの、特にクリミアに住むロシア人は、言語、風習、宗教、人種などすべてが、本国のロシア人と同じで、この半島のロシアへの帰属希望は、90数パーセントの圧倒的な「国民投票」Referendum で決まっている。これを認めようとならないアメリカのDeep State 勢力が、親ナチスのポロシェンコと結んで、ウクライナを苦しめてきたのが現状である。バイデン政権の異常に神経質な「ロシアによる侵略」という主張は、そういう歪んだ事情の上に立っている。そのような力学が総合的にどう働くか、観察していくより仕方がないだろう。